

令和3年6月7日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
難民を助ける会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

国際協力キャリア授業

企画実施概要:

①実施内容

将来、国際協力分野のキャリアパスに興味を持っている高校生に対して、AAR職員が自身の経歴及び経験を紹介し、高校生に多様なキャリアパスを提示する

②対象者および参加人数

高校2年生:7名

担任教員:2名

2 出張者氏名

堀尾麗華

3 依頼元/主催団体名

立命館宇治高等学校

4 実施予定日時

令和3年5月17日 (月)

11:45 ~ 12:45

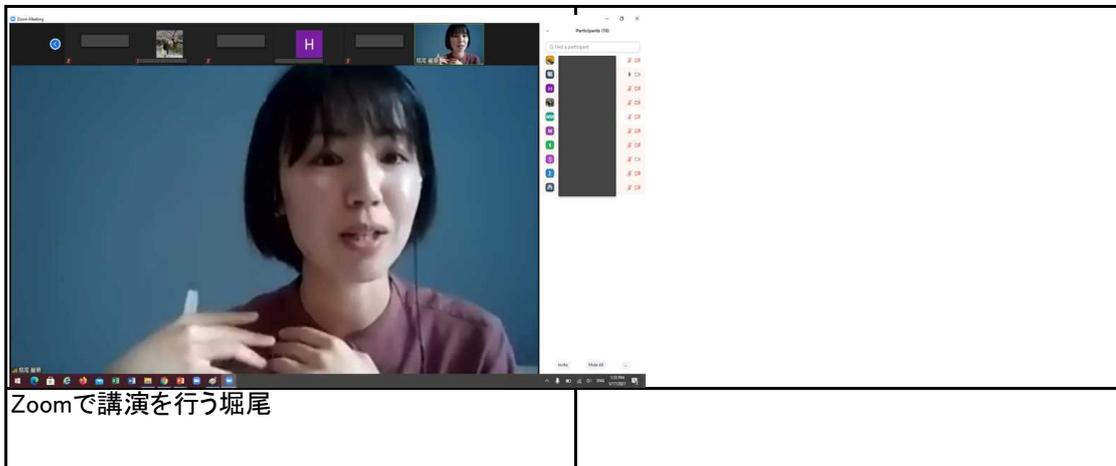
5 実施場所

Zoom

6 実施報告

・難民問題や国際協力に興味がありますが、堀尾さんはずっと動けるフットワークがあつてすごいと思いました。(生徒)
・大学を卒業する前から多様な活動をされていて、そういう選択があるんだなと気づけました。(生徒)
・高校、大学時代のことだけでなく、国際協力のお仕事を志されたバックグラウンドやお仕事をされてきた中で大切にされていたことなど丁寧にお話頂き、生徒達も心が揺さぶられる思いだったのではと思います。(教員)

7 写真



(写真1)

以上

令和3年6月1日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

企画実施概要:

①実施内容:①企画内容

NGO活動の紹介とNGOでのキャリア形成について学生を対象に講義を行う。講義後の質疑応答に対応する。

②対象者および参加人数:愛知学院大学の学生(経営・経済・商学部)
2年生~4年生 50名

2 出張者氏名

田口裕晃

3 依頼元/主催団体名

愛知学院大学 社会連携センター

4 実施予定日時

2021年5月12日 (水)

13:10 ~ 14:40

5 実施場所

愛知学院大学 名城公園キャンパス 1204教室(住所:愛知県名古屋市)

6 実施報告

・NGOとNPOの違い、国際協力の様々な主体の違いについて理解することができ、それぞれの得意分野不得意分野があることを知ることができた。

・国際協力と言っても、様々な分野(教育、保健、水、地域づくり)があることを知った。また、それぞれの取り組んでいる課題は日本と共通していることも知ることができた。

・今まで大学を出てから就職する場所は企業か公務員しか頭になかったが、国際協力を仕事にできることが分かり、興味が沸いた。国際協力に関わろうと思う。

7 写真

	
ソーシャルディスタンスを保って席を配置	学生に向けてNGOでのキャリアについて講義する

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年6月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 社会を動かす人と語る会での講演「若い世代と一緒に作る持続可能な社会」
- 企画実施概要:**
- ①実施内容
社会を動かす人と語る会で、SDGsの達成の重要なアクターであるユース世代との多世代による国際協力活動について講演を行う。
 - ②対象者および参加人数
老若男女、あらゆる構成員による市民社会・草の根の国際協力活動の重要性について講演を行い、日本のODAの役割や日本のNGOの活動への学びと参加を促す。

2 出張者氏名 佐野 光平

3 依頼元／主催団体名 ソシオプロダクツ

4 実施予定日時 令和3年5月29日 (土) 16:00 ~ 18:30

5 実施場所 オンライン

6 実施報告
日本の若い世代がSDGsや国際協力、また分野を問わず、活躍するためには、制度を変えるだけでは解決せず、意識改革や文化や構造を分析する必要があることが分かった。

ODAを活用した参加型の開発教育やエンパワーメントによる若者の国際的な理解や教養のある市民の育成プロジェクトについて知ることができた。

ネットワークNGOが国際協力NGOのために事業を展開している事例を知ることができた。

7 写真



ネットワークNGOの役割について解説する様子

若い世代が活躍する場を生み出すため多様なアプローチについて解説する様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

甲南女子大学での講演: 国際協力×多文化共生

企画実施概要:

①実施内容

同大学のNGO・NPO論の授業にて、NGOからみた国際協力と多文化共生の現状と取り組みについて講演を行う。

②対象者および参加人数

国際科2年生、27名

2 出張者氏名

坂西 卓郎

3 依頼元/主催団体名

甲南女子大学

4 実施予定日時

令和3年5月6日 (木)

13:00-14:30

5 実施場所

甲南女子大学
(兵庫県神戸市)

6 実施報告

NGO・NPO論の国際協力分野がテーマということで、SDGsのゴールを解説しながら、講演を進めた。

今回は女子大学ということもあり、ジェンダーをテーマにネパールで差別を受けている被差別カーストダリットの女性とオンラインでつなぎ、当事者の話を聞いてもらった。感想は以下の通りである。

- ・インドではカースト制度がきびしく大変だと勉強しましたが、ネパールでもカースト制度があるんだと学びました。
- ・日本の男女平等ランキングが世界でも120位と低いことに驚きました。
- ・世界では5秒に一人も子どもが亡くなっていることに衝撃を受けた。
- ・ダリット女性差別はひどく、困難であることを学んだ。

7 写真

	
外務省NGO相談員制度の説明をしている様子	授業の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年4月16日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

神戸市立葺合高等学校での講演

企画実施概要:

①実施内容

同校のグローバルスタディーズの授業にて、NGOの活動及びミャンマー情勢についてオンライン講演を行った。また、NGO相談員の講演後には、在日ミャンマー人の方にも話をしていただいた。

②対象者および参加人数

国際科2年生、22名

2 出張者氏名

中村 朱里

3 依頼元/主催団体名

神戸市立葺合高等学校

4 実施予定日時

令和3年5月11日 (火)

9:30~10:30

5 実施場所

神戸市立葺合高等学校 国際棟
(兵庫県神戸市) ※オンラインにて実施

6 実施報告

緊急事態宣言の延長に伴い、対面からオンライン講演に切り替えて実施した。相談員がミャンマー情勢について説明を行い、ミャンマー留学生に母国の状況や民主化への想いを語っていただいた。

後半は、「ミャンマーのために何ができるか」についてダイヤモンドランキングの手法を用いて、考えてもらうワークを設けた。以下、生徒からの感想である。

- ・直接的な情報を知ることができた。知らなかったことがたくさんあった。
- ・衝撃的だった。民主主義を学びたいと強く感じた。
- ・遠い国で起きていることだけど、関係ないとは思えなかった。
- ・以前に授業でアフリカの虐殺の映像を見たが、今日はミャンマー、同じアジアでもこのようなことが行われているのは驚いた。
- ・ワークでランキングをした。国際関係は難しいと感じた。

7 写真

ミャンマーからの言葉

- ・「国軍だけが父、国軍だけが母、まわりの言うことを信じるな、血縁のことだけを信じよ、誰が分裂を企てても我々は分裂しない!」
- ・「After darkest time, dawn is coming」(暗い時間が過ぎれば、夜明けは必ずやってくる)
- ・「軍政下で貧しい生活を経験したので、小さいころから“最善を望みながらも、最悪に備える”ことを心がけてきました!」



ミャンマー情勢について解説している様子。ミャンマー人の留学生にも語っていただいた。

教室の様子。グループに分かれてワークを行った。(葺合高校提供)

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月14日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 兵庫県立尼崎西高等学校での講演
- 企画実施概要:**
- ①実施内容
同校の授業にて、NGOの活動員がミャンマー情勢について説明する。また、在日ミャンマー人の方にもミャンマーの現状や自民族への想いについて語ってもらう。講演はオンラインにて実施。
 - ②対象者および参加人数
3年生、41名

2 出張者氏名 山本 健太郎

3 依頼元／主催団体名 兵庫県立尼崎西高等学校

4 実施予定日時 令和3年5月14日 (金) 14:30～15:00

5 実施場所 兵庫県立尼崎西高等学校(兵庫県尼崎市)※オンラインにて実施

6 実施報告

相談員が高校生の1クラスに対して、ミャンマー情勢に関する現状説明を行い、ミャンマー留学生に母国の状況や民主化への想いを語っていただいた。

後半は、「ミャンマーのために何ができるか」について、質疑応答の時間を設けた。高校生たちからミャンマーに関する質問(軍政やミャンマー文化について)を積極的に聞き、相談員と留学生が知見に基づき答えた。(下記、参加した高校生からの感想)

- ・ミャンマーの人たちから直接声を聞くことができよかった。新しい学びがあった。
- ・想像を絶する状況で、平和を望み活動しているミャンマーの方々ին 打たれた。
- ・ミャンマーの人たちも私たちと変わらない種類が好きで普通の人たちだった。親近感が湧いた。
- ・日本人である私も、興味を持ち知ること、変えられることがあるかもしれないと思った。

7 写真

	
<p>NGO相談員として、講演実施時の挨拶とミャンマーについての現況を説明する様子。</p>	<p>2月1日以降のミャンマー現況について質疑応答の時間。ミャンマー人の留学生にも参加していただいた。</p>

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月31日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 「ミャンマーの今を考える ～国際協力活動と民主化運動」
- 企画実施概要:**
- ①実施内容
兵庫県北部・但馬地方の方々を対象にNGOの活動、ミャンマーの情勢についてお話する。参加者は会場に集まり、相談員はオンラインにて講演を実施する。
 - ②対象者および参加人数
但馬住民、計29名

2 出張者氏名

山本 健太郎

3 依頼元／主催団体名

平和の集い実行委員会、但馬憲法カフェ、
但馬平和委員会、但馬PHD に所属するメンバー

4 実施予定日時

令和3年5月30日（日） 13:30～15:30

5 実施場所

豊岡市民プラザ（アイティ7階）（兵庫県豊岡市）※オンラインにて実施

6 実施報告

緊急事態宣言の延長に伴い、オンライン講演にて実施した。相談員が但馬地方に在住の方々に対して、ミャンマー情勢に関する現状説明を行った。軍事クーデターまでの経緯や2008年度制定の憲法制定からの流れに重きを置いて話を進めた。

また、「ミャンマーのためにできること」について、質疑応答の時間を設けた。参加者からミャンマーに関する下記の質問を受け、お答えした。

- ・ロヒンギャ難民迫害についての事実とミャンマー
- ・軍が作った現在の政府の中の議員について（民族割合）
- ・国軍と警察の関係について
- ・CRPH（連邦議会代表委員会）とNUG（国民統一政府）について
- ・ASEANや他国からの現国軍へのアプローチ

7 写真



講演実施時の挨拶とミャンマー現況について説明する様子。

(写真1)



会場での質疑応答の様子（但馬憲法カフェ提供の写真）。

(写真2)

以上